

『利他』

R 4. 11. 17

前の号で校舎周辺のサクラが紅葉し始めたと紹介しましたが、それから約1か月、落葉が終わりつつあります。歩道に張り出した枝からは、たくさんの落ち葉が舞い落ち、歩道や車道が落ち葉で埋め尽くされそうになっていました。

昨日までの数日間、毎朝3年生の有志がその落ち葉を掃き集めてくれました。いつもより早めに登校した3年生が竹箒を片手に勢いよく玄関を飛び出し、思い思いの場所で作業を始めます。玄関に立つ私の耳には、楽しそうに話す声とシャーシャーという竹箒の音が聞こえてきます。

夜間に雨が降った日もありました。「掃きにくかったやろう？」と聞くと、「道路に貼り付いて大変でした。」との返事。体験しなければわからないことです。

3学年委員会主催のこの活動は「朝ボランティア」と名付けられていました。この福光中学校HPをよくご覧になっている皆さんはご存じだと思いますが、本校生徒会の四本柱の一つが「ボランティア」です。

ボランティアの定義、というとなんだか難しい話になってしまいそうなのですが、彼らの行っていることは素直に「歩道を利用する人にとって、ありがたいこと。うれしいこと。」と言えるでしょう。日本語の中には「利他」という言葉もあり、昨今注目されているようです。

彼らは意識しているかどうか分かりませんが利他的行動をしているのではないのでしょうか。それも楽しみながら。

通勤途中に、自宅前の歩道の落ち葉を掃除しておられる方を目にします。きっと「朝ボラ」の彼らもそんな素敵な大人へと成長していくのでしょう。

植込みの冬支度も終わりました。職人の皆さんの手仕事の見事さにほれほれします。

こんなところにも「用の美」、民藝の心を感じるのは私だけでしょうか。

